

経済学科

2012

整理番号 No	科目名 Course Name	学期 Term	配当年次・単位 Student Year(s)・Credit(s)	担当教員 Professor
230	経済学演習 (若田部昌澄)	通年	3年以上：4単位	若田部 昌澄 政政・経演・国演

副題
Subtitle

経済問題を解くための経済学

授業概要
Course Description

この演習では、二つのことを目的としている。第一に、「経済問題」をとりあげること、経済学の実践的な部分の知識と興味を開拓することである。道具の良し悪しは実際に使ってみることでよくわかるし、使う側の理解も高まる。しかし、そのためには経済学についても相当の勉強が必要になる。第二に、経済についてのメディアなどに流布している各種の「誤解」を「躓きの石」と名付け、これを意識的に取り上げ、取り除くことを試みる。

実際の講義では、経済問題について各種メディアでいわれている議論を概観し、必要な経済学の知識を確認し、それに基づいて結論を出していくという形をとる。また、良質な英語記事を読むことを習慣としたい。

英語の文献も利用するので、英語に苦手意識がある人はご遠慮ください。

授業の到達目標
Objectives

(1) 論理的思考力の向上、(2) 標準的な経済学の学習、とくにその現実への応用についての能力開発、(3) 口頭での発表能力の開発、(4) 課題や修了論文を通じて文章を書く能力の向上。

授業計画
Course Schedule

第1回：イントロダクション：議論の組み立て方について
第2回：論理トレーニング1
第3回：論理トレーニング2
第4回：論理トレーニング3
第5回：論理トレーニング4（ディベート）
第6回：経済をみる躓きの石1：経済と経営は違う
第7回 - 第9回：経済をみる躓きの石2：財政危機
第10回 - 第12回：経済をみる躓きの石3：社会保障
第13回 - 第15回：経済をみる躓きの石4：マクロ経済政策
第16回 - 第18回：経済をみる躓きの石5：為替
第19回 - 第21回：経済をみる躓きの石6：貿易
第22回：ゼミ修了論文計画書発表1
第23回：ゼミ修了論文計画書発表2
第24回：ゼミ修了論文計画書発表3
第25回：ゼミ修了論文発表1
第26回：ゼミ修了論文発表2
第27回：ゼミ修了論文発表3
第28回：ゼミ修了論文発表4
第29回：まとめ
第30回：ゼミの終りにあたって

教科書
Textbook(s)

飯田泰之『ダメな議論』ちくま新書、2004年。
野矢茂樹『<新版>論理トレーニング』産業図書、2007年。
ポール・クルーグマン『良い経済学 悪い経済学』日経ビジネス人文庫、2000年。
盛山和夫『経済成長は不可能なのか』中公新書、2011年。
西沢和彦『税と社会保障の抜本改革』日本経済新聞出版社、2011年。
岩田規久男『デフレと超円高』講談社現代新書、2011年。
片岡剛士『日本の「失われた20年」』藤原書店、2010年。
Reinhart, Carmen, and Kenneth Rogoff, This Time is Different: Eight Centuries of Financial Folly, Princeton: Princeton University Press, 2009. (『国家は破綻する』日経BP社、2011年)

* 変更する可能性あり。

参考文献
Reference Book(s)

若田部昌澄 『経済学者たちの闘い』東洋経済新報社、2003年。
若田部昌澄 『改革の経済学』ダイヤモンド社、2005年。
若田部昌澄 『危機の経済政策』日本評論社、2009年。
浜田宏一・若田部昌澄・勝間和代 『伝説の教授に聞け！』東洋経済新報社、2010年。
若田部昌澄・栗原裕一郎 「よりよく生きるための経済学」Webちくまで連載中。

評価方法
Evaluation

	割合(%) Percent(%)	評価基準 Description
試験 Examination(s)	%	
レポート Report(s)	50 %	修了論文の量(2万字以上)と質(問題設定の適切さ、論旨の妥当性)。
平常点評価 Class Participation	50 %	出席は単位取得の前提。無断欠席はゼミ脱退とみなす。
その他 Other	%	

備考
Note

- 学生に対する要望：
- ・ミクロ経済学、マクロ経済学、計量分析、計量経済学を履修済みか履修中であることが望ましい。
 - ・選考にあたっては課題を出すことがあるので掲示板に注意するように。
 - ・講師が何者か、その考え方を知らない人は、参考文献を読むこと。
 - ・演習が始まるまでにミクロ経済学、マクロ経済学の復習をしてもらう。
 - ・演習については無断欠席をしないこと。無断欠席はゼミ脱退とみなす。
 - ・演習を優先すること。
 - ・演習時間を延長することがありうるので、ゼミの後に用事を入れないこと。
 - ・夏合宿に参加できること。
 - ・本代を気にせずに購入すること(必要ならば本の購入代は貸す)。
 - ・英語に対する苦手意識をもたないこと。
 - ・さらに演習について質問がある場合は、メール、オフィスアワーを利用してください。

関連URL
URLs for References